

エ 大阪公立大学特命副学長吉田敦彦教授講演会実施概要

目的：探究活動を通して、高大連携の繋がる学びを知る

日時：令和3年4月26日（月）

場所：本校体育館

参加者：2年生167名

実施内容

探究活動の意義について

大学が（社会が）求める学生（人物）について

高校での学びから大学での学びへの流れ



生徒感想

大学に行くことを目標にするのではなく、学びたいことを学ぶことを目標にしていきたい。

SDGsの学びを家族や友達に伝え、自分にもできる取組を行って行きたい。

「周りが作ってくれたルールを歩いて行くのではなく、自分で作っていくことが大切」。今までは親が連れて行ってくれたけれど、自分の足で進んでいくことに挑戦していきたい。

今までに作られてきた型にはまった社会をこれから続けるのではなく、持続可能な社会自分たちが形成しなければならないと思った。

家族や友達に、グローバル探究で何をやっているのか、自分たちの意見など伝えたいと思った。

自分の関心があることに対して探究してきたけれど、それが将来に影響を与えるかも知れないということを知れた。

オ 名古屋国際中学校・高等学校との連携

部活動間交流

11月12日（月）16:30-17:30

名古屋国際中学校・高等学校の部活動「Sus -Teen!」と本校部活動GCC(Global Citizens Club)とオンライン交流会を実施した。Sus -Teen!はSDGs達成のために、若者ならではのアイデアや行動力を生かして活動している部活動、GCCは「Happyで世界征服」を掲げ、さまざまな環境問題や社会問題の解決に自分たちにできることに取り組む部活動である。

今回はお互いを知るためのオンライン交流会として実施した。簡単な自己紹介とそれぞれの活動紹介をした。



2. 3校交流オンラインミーティング

2月8日（火）16:15-17:00

3校交流オンラインミーティング

参加校：

名古屋市立名東高等学校、奈良県立国際高等学校、名古屋国際高等学校

目的：

①3校交流を通して、親睦を深め、今後の学校や個人の活動への刺激を得る

②若者世代（Z世代）の考えを明確にし、大人世代に疑問を提起する

交流手段：

オンライン会議システムZoom

流れ：

自己紹介（1人1分程度）

学校紹介（1校3分程度）

交流テーマ：

「Z世代」の持続可能な活動・地域交流が社会や未来にどんな影響を与えるのかを考える

備考：今回の収録動画は、編集し、2月12日開催未来ウォーターコンソーシアム主催「持続可能な未来への対話セッション2022」の、「対話セッションC-②国内の学校との交流」において公開。

持続可能な未来への対話セッション 2022
主催 未来共生ウォーターコンソーシアム
文部科学省は、市町村・高等教育機関・産業界等とのコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を行う「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」を実施しています。名古屋国際中学校・高等学校は、「グローバル型指定校」(全国で24校)として、地域との協働による高等学校教育改革を推進しています。

2022.2.12 Sat

【時間】 13:00～15:00 (12:45開場・接続開始)
【場所】 名古屋国際中学校・高等学校 (愛知県名古屋市中区本町1-16) 兼当日は対面とオンラインZoom配信の同時開催
【テーマ】 ニューノーマルな時代における中等教育のあり方
【申込】 右QRコードからご予約ください。
【スケジュール】
13:00 開会 (12:45開場・接続開始)
13:10 基調講演
テーマ：(仮)愛知のスタートアップ支援 ～愛知から、未来を創る～
愛知県経済産業局 スタートアップ推進室 柴山 政明氏
14:00 対話セッション
① 学校と世界 ② オフィスとの交流
③ 学校と地域社会 ④ 企業が考える未来の共生社会
⑤ 学校と学校 ⑥ モロッコの学校との対話
14:45 質疑
15:00 閉会

地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム
国際バカロレア・ディプロマプログラム認定校

名古屋国際中学校・高等学校
NUCB INTERNATIONAL JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
【お問い合わせはコンソーシアム事務局まで】 名古屋国際中学校・高等学校 consortium@nihs.ed.jp



カ 同志社女子大学（研究室訪問・連携協定）

（ア） 研究室訪問

日時：2021年11月9日（火）16:30~18:00

訪問先：同志社女子大学 看護学部 真鍋えみ子先生

訪問者：教諭 水本祐之 および本校2学年生徒2名

目的：「グローバル探究II」のゼミ「いのちの輝きを未来に伝える」に所属する生徒2名が、人の健康、特に「睡眠」に着目し、文献を探していたところ、真鍋先生が2017年に発表された、「女子総合大学の学生における睡眠の質に



影響する要因の検討」という論文を読み、同様な手法で、高校生の睡眠の質に関連する要因を、調べたいと申し出てきた。具体的には、ピッツバーグ睡眠調査票と添付のアンケートを同時に行い、睡眠の質に関連する要因を調べ、その結果をもとに、本校生徒の睡眠の質を改善する提案をしたいと考えている。この調査について、専門家である真鍋先生のご意見を聞き、アドバイスを受けることを目的に、研究室訪問を実施した。

結果：研究室を訪問し、真鍋先生からスライドを用いた基本的な説明を受け、調査についてのアドバイスを受けた。具体的には、生徒たちが考える調査によって得られる結果は曖昧なものになる可能性が高く、別の調査を実施したほうが良いとアドバイスを頂いた。例えば、睡眠時間を短くしたグループと長くしたグループをつくり、それぞれにパフォーマンステストを実施し、睡眠の長さが勉強の効率に与える影響を調査してはどうか、という意見を頂いた。これを受けて、生徒たちは新たな目標を持ち、探究を進めることができた。

（イ） 連携協定

日時：2022年3月23日（水）10:30~

場所：本校 会議室

出席者：同志社女子大学

| | |
|--------------|---------|
| 学長 | 飯田 毅 様 |
| 広報部長 | 川崎 清史 様 |
| 広報室長兼高大連携課長 | 小島 隆久 様 |
| 広報課長 | 渡邊 一郎 様 |
| 高大連携係長 | 前野 健 様 |
| 奈良県教育委員会事務局 | |
| 教育政策推進課 課長 | 熊谷 啓子 様 |
| 教育政策推進課 指導主事 | 森田 純司 様 |
| 本校 | |
| 校長 | 中尾 雪路 |
| 教頭 | 小谷 修也 |
| 教務部長 | 本間 直樹 |
| 国際教育部長 | 松本 真紀 |

進路指導部長

大津輪 真紀

目的：相互の人的・知的資源の交流・活用を通じて新たな学びの場を想像するとともに、相互の教育の充実・発展に資する。

内容：教育に対する相互支援
生徒・学生の相互交流
教員の相互交流